入場無料

2021年3月13日（土）

WEB同時配信

北海道大学 総合博物館 バイオミメティクス市民セミナー

公立千歳科学技術大学 オープンサイエンスパーク千歳

共同開催 特別シリーズ

支笏湖から考える ～生態系サービスがもたらす持続可能な社会～

第３回：支笏湖の恵みと保全

今、アフターコロナ・ウィズコロナ時代の自然共生と持続可能な社会のありかたが問われています。本シリーズでは、北海道民にとって身近な自然である支笏湖に着目することで、生物多様性と地勢の複雑なネットワークを基盤とする生態系がもたらす“恩恵と脅威”、その“開発と保全”、さらには“日常と非日常”の視点を通じて支笏湖の温故知新を図り、様々なステークホルダーとともに「生態系サービスがもたらす持続可能な社会」について考える対話（トランスサイエンス）の場を設けることにしました。

特別シリーズ3回目は、支笏湖のブランドであるチップ（ヒメマス）のお話、環境省レッドリストで絶滅危惧種に指定されているチトセバイカモとその近縁種について、そして市民と共にある支笏湖の現在と過去を通じて、“支笏湖の恵みと保全”を考えます。

本シリーズでは、コロナ世情を勘案し、対面式講演とウェブ同時配信を行います。

13:30－14:00
支笏湖の恵みヒメマスのブランド化
木村 廣美
公立千歳科学技術大学・教授

14:00－14:30
実は混乱しているバイカモ類
～チトセバイカモとその近縁種群の分類・系統・進化～
首藤 光太郎
北海道大学総合博物館・助教

14:30－15:00
市民として見てきた支笏湖との共生 これまでのこと、そしてこれからも
関井 栄二
千歳市体育協会

15:00－15:30 会場との対話

主　催：北海道大学総合博物館 バイオミメティクス市民セミナー
公立千歳科学技術大学地域連携センター（オープンサイエンスパーク千歳、支笏湖デザインプロジェクト）
共　催：高分子学会北海道支部
高分子学会バイオミメティクス研究会
フォトニクスワールドコンソーシアム
NPO法人バイオミメティクス推進協議会

会　場：北海道大学総合博物館 3階 北講義室(N308)
札幌市北区北10条西8丁目

時　間：午後１時３０分から午後３時３０分

現地開催(先着45名) および ウェブ同時配信 併用の
ハイブリッド方式での開催となります

https://chitose.town/course/view.php?id=5
https://youtu.be/h4s-hfv6W_o

北海道大学総合博物館
060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
問合せ先：TEL.011-706-2658 FAX.011-706-4029
E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp